

2025年6月2日
千葉市
イオン株式会社

千葉市で回収したペットボトルが“トップバリュのペットボトル商品”に生まれ変わる 千葉市とイオン株式会社のサーキュラーエコノミーの 推進に関する連携協定締結について

千葉県千葉市（市長：神谷 俊一）とイオン株式会社（取締役兼代表執行役社長：吉田 昭夫）はサーキュラーエコノミーの実現を目指し、家庭から排出されるペットボトル、単一素材製品プラスチックの資源化などに関する「サーキュラーエコノミーの推進に関する連携協定」を6月2日（月）に締結します。

本協定は、2011年5月に締結した「千葉市とイオン株式会社との包括提携協定」の具体的実施事項について定めた個別協定として位置付けられます。

【連携協力事項】

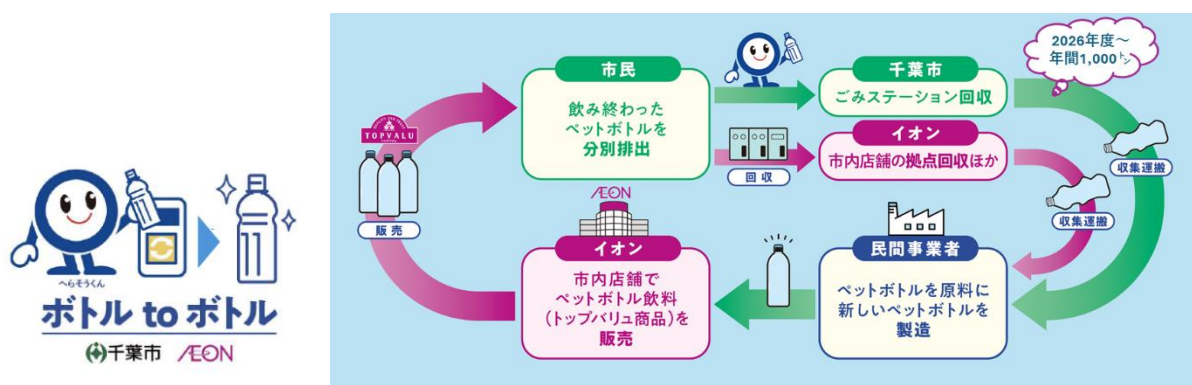
- （１）ペットボトルの水平リサイクルの枠組みに関すること
- （２）単一素材製品プラスチックの拠点回収・再資源化に関すること
- （３）小型充電式電池の安全な分別回収に向けた取り組みに関すること
- （４）３Ｒ教育に関すること
- （５）その他、本協定の目的達成に資すること

協定に基づく主な取り組み

（１）ペットボトルの水平リサイクル（ボトル to ボトル）【2026年度開始予定】

千葉市のごみステーションで回収されたペットボトルのうち約1,000トンが、イオンのプライベートブランドである「トップバリュ」のペットボトル商品に生まれ変わる取り組みです。生まれ変わったペットボトルは千葉市内のイオン、イオンスタイルの各店舗で販売され、ペットボトルの資源循環の実現を目指します。

「水平リサイクル」は、使用済の商品を原料として同じ商品を新たに作る資源循環を推進する取り組みとして注目されています。



プロジェクトロゴマーク

ボトル to ボトルの流れ（2026年度開始予定）

(2) 単一素材製品プラスチックの拠点回収・再資源化【2025年6月開始】

市内19カ所の公共施設で、すでに実施している単一素材の製品プラスチックの拠点回収・再資源化の事業において、イオンモール幕張新都心を新たな回収拠点として追加することで、市民の排出機会を増やし、再資源化量の増加を図ります。

以下15品目の単一素材製品プラスチックを無料で回収します。回収した製品プラスチックは同じ材質のプラスチックごとに小さく砕いて溶かした後、新たなプラスチックを作るための原料として再利用します。



イオンモール幕張新都心
回収ボックス

回収品目(15品目)

(3) 小型充電式電池等の安全な分別回収に向けた取り組み【2025年6月開始】

近年増加しているリチウムイオン電池などの小型充電式電池を使用した製品が不適切に排出された場合、廃棄物の収集・運搬・処理過程で火災のリスクが高まります。これを防ぐため、家電売場のある下記の店舗において啓発POPを掲示し、適正な排出方法について周知・啓発するなどの取り組みを実施します。

(周知・啓発実施店舗)

イオン稲毛店、イオンスタイル鎌取、イオン海浜幕張店、
イオンスタイル幕張新都心、イオンマリニピア店、
イオンスタイル検見川浜、イオンスタイル幕張ベイパーク、
イオンスタイル千葉みなと



啓発POPの画像

(4) 3R教育に関するイベント等【2025年6月開始】

市民が3R（リデュース・リユース・リサイクル）に関する理解を深めることを目的に、両者が連携してイベント等を実施する場合は、千葉市主催イベントに対してイオン店舗を会場として提供するほか、イオン店舗で開催されるイベントに千葉市がブース出展や啓発物品の提供を行うなど、相互に必要な協力を行います。

(ご参考)

【イオンのサーキュラーエコノミーの取り組みについて】

イオンは、2030年までに使い捨てプラスチック使用量を半減する目標を掲げ、容器包装資材の削減や環境配慮型素材への転換、店舗を起点とした資源循環モデルの構築などを進めています。

サーキュラーエコノミーにかかる具体的な取り組みのひとつとして、お客さまにご持参いただいた使用済ペットボトルの回収・運搬・リサイクル・商品化まで一気通貫して取り組む「ボトルt o ボトル」プロジェクトを2021年より開始しています。地域特性を考慮した循環モデルの整備を全国で進めており、トップバリュのペットボトル飲料の容器として活用しています。

今後もお客さまとともに、資源の無駄遣いや使い捨てを見直し、循環型社会の実現を目指してまいります。

イオン プラスチック利用方針

1. 事業活動における資源の無駄使いや使い捨て型の利用を見直し、使い捨てプラスチックゼロを目指します。
2. 必要なプラスチックは化石由来から環境・社会へ配慮した素材へ転換します。
3. 店舗を拠点に使用済プラスチックの回収・再利用・再生する資源循環モデルを構築し、お客さまとともに持続可能な資源利用に取り組めます。



店頭資源回収活動
“つなぐステーション”



リサイクル素材を
使用した商品の展開



環境配慮型商品特集「えらぼう。
未来につながる今を」フェア